

01.

エムケイシステムの現状

最新の顧客数と管理データ

社労士事務所 2024年1月1日現在

約 **2,400** 事務所



管理事業所数 2024年1月1日現在

約 **574,000** 事業所



電子申請 2023年1月~2023年12月

約 **4,007,000** 件



社労夢で管理する在職者数 2024年1月1日現在

約 **8,304,000** 人



帳票数 2024年1月1日現在

288 帳票



給与利用事業所数 2024年1月1日現在

約 **113,000** 事業所

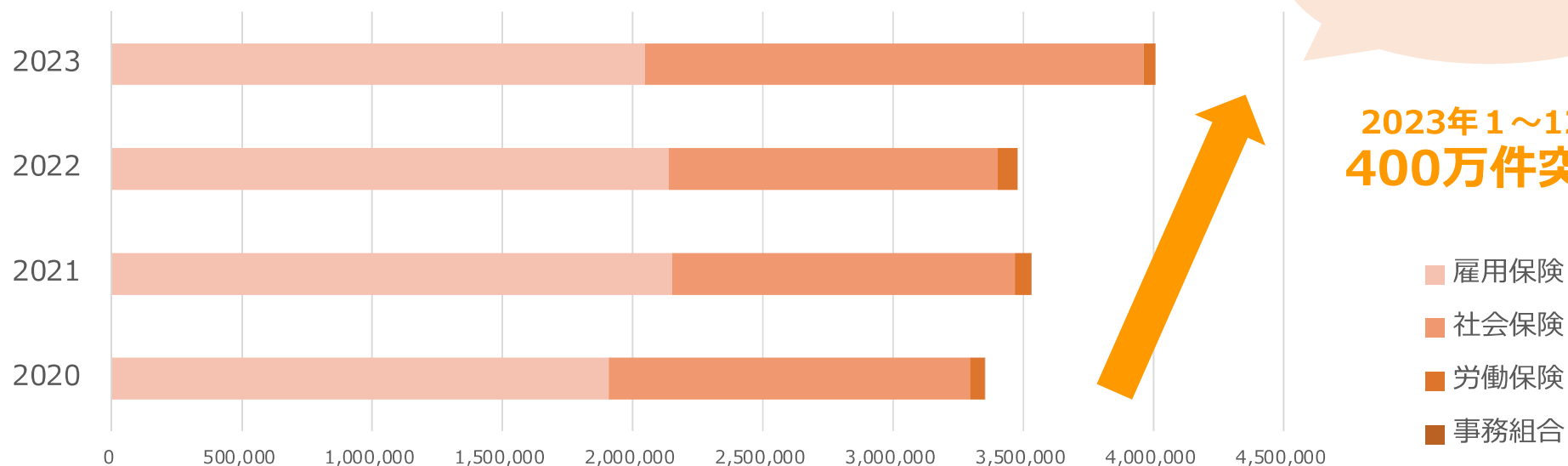


自社調べ (2024年1月現在)

※管理事業所数・管理在職者数・給与利用事業所数について、2022年10月1日より、委託解除事業所数を削除した実数で表示しています。

社労夢による電子申請数の推移

社労夢 電子申請数推移



大幅に増加

2023年1~12月
400万件突破

- 雇用保険
- 社会保険
- 労働保険
- 事務組合

雇用保険 電子申請

- ・ 資格取得届
- ・ 資格喪失届、離職票
- ・ 育児給付月額証明書 他

社会保険 電子申請

- ・ 資格取得届
- ・ 月額算定基礎、変更届
- ・ 被扶養者（異動）届 他

労働保険 電子申請

- ・ 年度更新申告
- ・ 保険関係成立届 他

02.

セキュリティ強化の取組状況

稼働後に実施した主なセキュリティ対策

No	対策内容	詳細
1	ネットワークセキュリティ対策の強化	AWSのセキュリティ機能をフル活用 +多要素認証の追加
2	エンドポイントセキュリティ対策強化	ウィルス対策ソフト +ふるまい検知EDR (SOC)
3	OS及びソフトウェアの更新管理の徹底	自動化、省力化による Update適用期間の縮小
4	ペネトレーションテスト（脆弱性検査等）の定期的な実施	新規リリース時&年2回の定期実施
5	リスクアセスメント、情報セキュリティ監査の定期的な実施	テーマごとに毎月実施
6	情報セキュリティの運用体制見直し（情報セキュリティ専門家活用）	外部専門家とのアドバイザリー契約
7	情報セキュリティインシデントに対する体制整備（CSIRT構築運用）	分散型CSIRT (インシデント発生時のみ活性化)
8	従業員に対するセキュリティ教育（定期的な啓発活動）	役割別、階層別教育内容への転換
9	事業継続計画（IT-BCP）の見直し	AWS基盤に応じた計画の立案・実行へ

組織の強化 セキュリティ運用体制の見直し

専任化

デジタルアーキテクチャデザイン部 新設

- ・ 製品企画部インフラ担当を独立部門に昇格、増員
- ・ 外部より、セキュリティ専門家を部門長として採用
- ・ セキュリティ専門企業とコンサル契約

関係者の 増員

CSIRT体制の強化

- ・ 社内規程制定 社長直下の組織化
- ・ 平常時と緊急時のCSIRT体制、役割の明文化

専門性 強化

セキュリティプロジェクトMTGの定例化

- ・ 社内主要部門責任者+デジタルアーキテクチャデザイン部のMTGを定例化
- ・ 外部セキュリティ専門家の参加
- ・ CIS COTROL V8対応の進捗と各種セキュリティ施策の進捗を確認
- ・ AWS、IRETとの定期、非定期MTG

組織の強化 セキュリティ運用体制の見直し ISMAP LIU



2023年9月2日 : ISO27001 資格取得

2024年6月 : ISO27017 資格取得予定

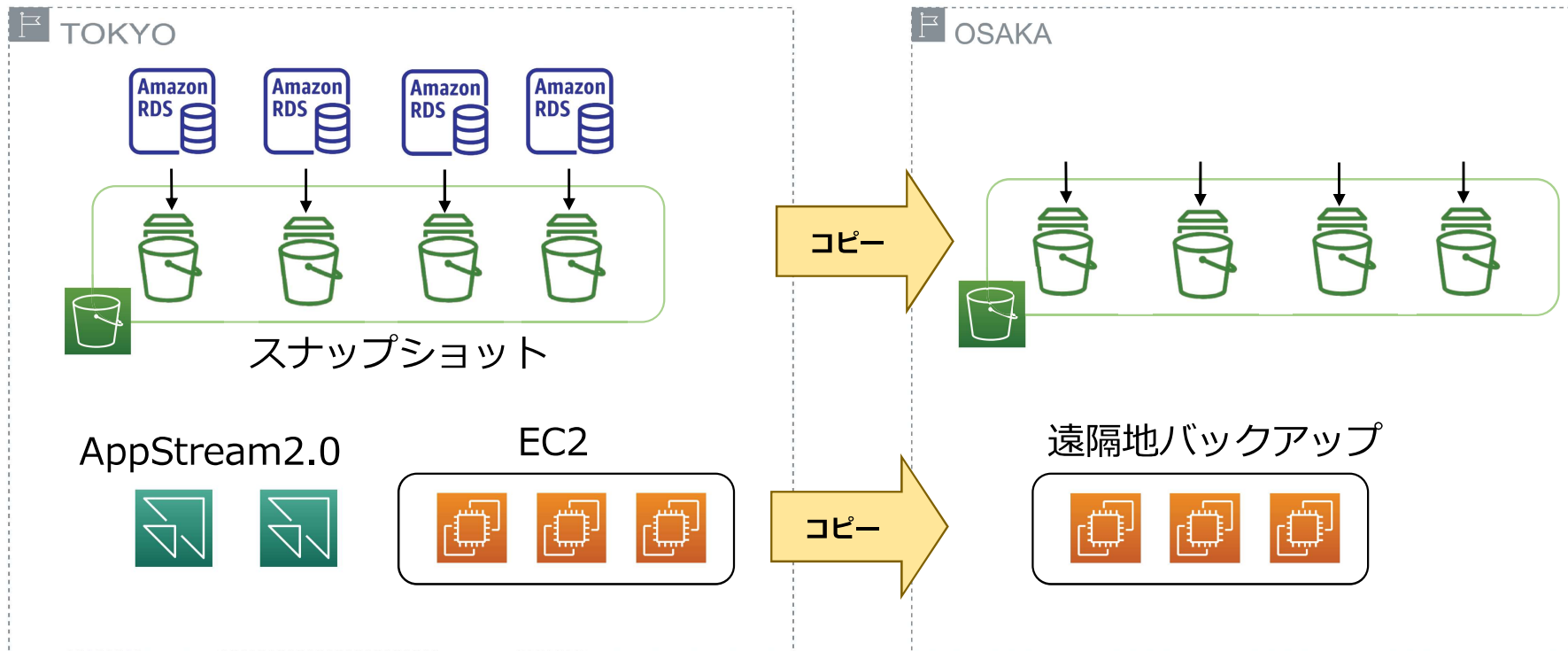
ISO/IEC 27001 : 情報セキュリティ全般に関するマネジメントシステム規格
ISO/IEC 27017 : クラウドサービスに関する情報セキュリティ管理策のガイドライン規格
ISO27001の取り組みをISO/IEC 27017で強化することで、
クラウドサービスにも対応した情報セキュリティ管理体制を構築することができる。

2025年4月 : ISMAP LIU 資格取得予定

ISMAP-LIU : ISMAP (Information system Security Management and Assessment Program)
for Low-Impact Use

ISMAP-LIU (イスマップ・エル-アイ-ユー) とは、**日本の政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP)** における、**リスクの小さな業務・情報の処理に用いるSaaSを対象とした仕組み**です。

事業継続計画（BCP）の概要①



平常時の運用

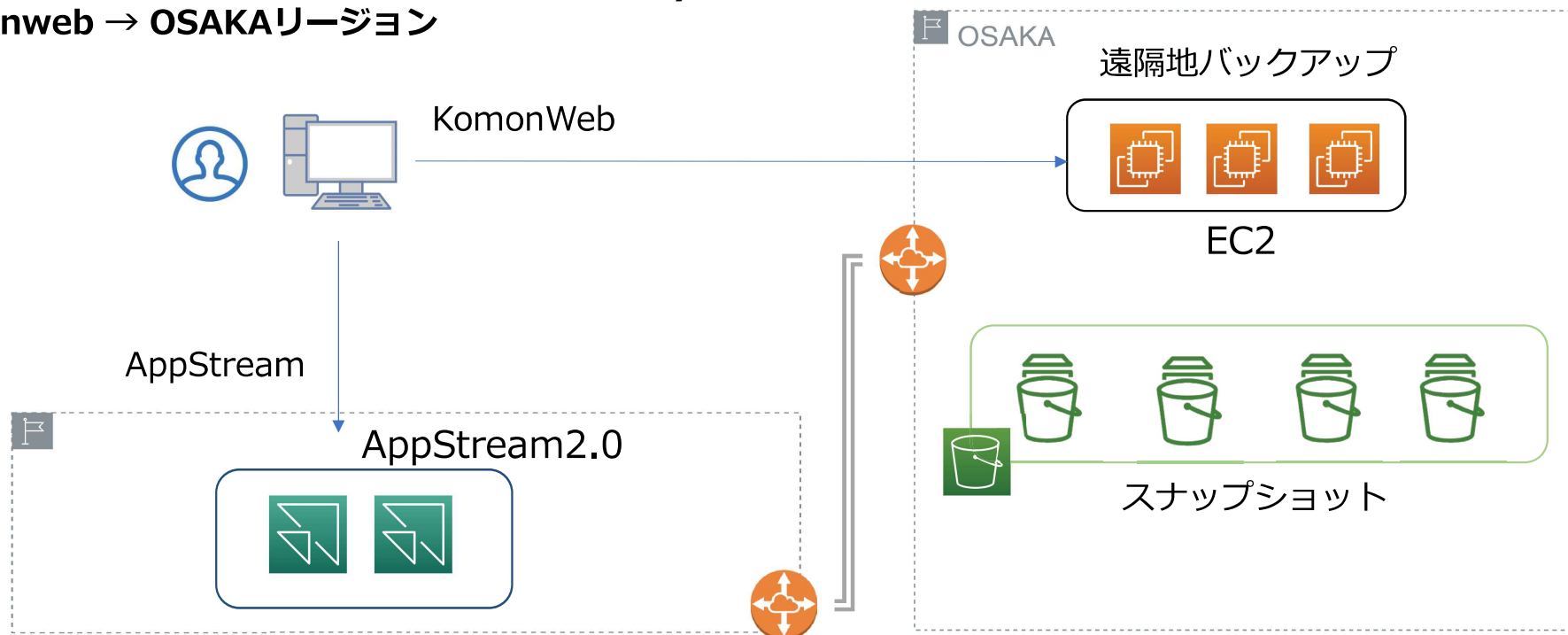
RDS → 大阪リージョンで保管

事業継続計画（BCP）の概要②

インシデント発生時

AppStream2.0 → フロントエンド（別リージョン）

komonweb → OSAKAリージョン



【概要】

AWSの東京リージョンが被災またはセキュリティインシデントが発生した時点で、バックアップサイト大阪リージョンのデータと別リージョンの AppStream2.0 を用いてサービスを継続する。

事業継続計画（BCP）の概要③ 復旧訓練実施計画

【目的】

BCP計画の一環として、大規模災害およびセキュリティインシデント発生時に遠隔地に保管していたデータをもとにシステムを復旧することにより復旧手順の確認や問題点の洗い出しを行う。

→ISO27001に対応

【想定シナリオ】

首都直下型地震が発生。関東一円が機能不全となりAWSデータセンターも大きな被害を被り

・ **AppStream2.0** ・ **RDS** のサービスが利用不可になった。

BCP計画に従い、大阪リージョンでバックアップからデータをリストアしシステムの復旧を行う。

【確認ポイント】

- 報告連絡体制の確認
- AppStream2.0 のリストア方法の確認
- データベースの復旧手順の確認
- ネットワーク周りの復旧手順の確認

【スケジュール】

工程	2月			3月			4月			
計画立案	▶									
シナリオ作成	▶									
訓練計画説明/CSIRT概要説明			▶							
事前準備	▶									
訓練実施						▶				